

斎藤環さんが

「つくばダイアログハウス」を開設！

人よりも樹木の多い、緑あふれるこの地で

編集室レポート



▲つくばダイアログハウス全景。裏は一面の畑。ここで対話をするだけで癒やされそう。

本誌でおなじみ、精神科医の斎藤環さん（筑波大学名誉教授）が大学を早期退職し、茨城県つくば市内に新しいクリニックを開いた。その名も「つくばダイアログハウス」！

9月中旬に、写真のとおりすばらしい建物の内覧会が開かれ、多くの友人知人が駆けつけた。

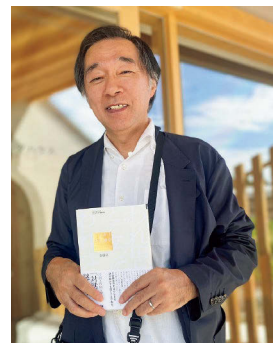
10月1日開業予定のこのクリニックは、名称のとおり、オープンダイアログを実践する場所となる。オープンダイアログ自体には診療報酬はまだつかないので、基本的には自費となる。

向かって左側の建物が診察やダイアログのための部屋となり、右側がセミナーハウス。この2つの建物が屋根と車椅子スロープでゆるやかにつながり、斬新な印象を受ける。セミナーハウスではオープンダイアログ研修やその他もろもろのイベントを行う予定とのこと。斎藤さんはクリニック開設にあたり、抱負を

語ってくれた。

「人よりも樹木の多い、緑あふれるこの地で、最小限の薬と最大限の言葉を用いて、さまざまな心の悩みに応えていきたい。檜の香るくつろぎの空間で、多くの声を聞き、声を響かせ、声たちを重ね合わせていきたいと考えています」

精



（撮影：石田月美）

▶新作『イルカと否定神学』を手に、満面の笑顔。タイトル部分の金箔がまぶしい！